

スポーツと統計科学の融合シンポジウム I

第1回 スポーツデータ解析コンペティション 報告会

2012年3月5日(月) 13:00~17:20

場所： 統計数理研究所 セミナー室1 (D305)

主催： 統計数理研究所 日本統計学会スポーツ統計分科会 日本統計学会統計教育分科会
日本統計学会統計教育委員会 立教大学社会情報教育研究センター
統計数理研究所共同研究「スポーツデータの統計解析に関する研究」(研究代表者：酒折文武)
科学研究費・基盤研究(B)「予測・因果・不完全データ解析とサイエンスの基礎」(研究代表者：狩野裕)
科学研究費・基盤研究(B)「知識基盤社会を支える統計教育の新展開—小中高と大学・社会を繋ぐ教育システムの研究」(研究代表者：渡辺美智子)

協賛： データスタジアム(株)

趣旨： 野球やサッカーなど数多くのスポーツの場において、欧米諸国を中心として様々なデータ収集や高度な統計分析が行われ、科学的な見地から戦術解析や選手評価がなされています。実データに基づく応用研究の促進と、研究成果を現場に還元するきっかけを与えること、また研究者の裾野を広げることを目的として、本コンペティションを実施するに至りました。本コンペティションでは、野球およびサッカーの実データをデータスタジアム株式会社より皆様に貸与し、その結果を新規性や実用性など多様な観点から競っていただきます。学術的、実用的な観点から厳正に審査し、優秀な成果については表彰します。

プログラム

開会挨拶

コンペセッション1 13:10-14:50

状況を踏まえた戦略評価システム構築の研究—盗塁や犠打を事例として—
勝村友紀, 高橋彩可, 笹本駿介, 野原衣未, 大崎雄悟, 山口和範 (立教大学経営学部)

投手データの解析

笹岡蘭平, 八木圭太, 山田実俊 (東海大学理学部), 郡川貴子 (東海大学大学院理学研究科), 山本義郎 (東海大学理学部)

先制点の有効性

井内貴志 (岡山大学大学院環境学研究科), 橋尾奏美 (岡山大学環境理工学部), 笛田薫 (岡山大学大学院環境学研究科)

視覚化法を用いた投手の特徴把握について

谷岡健資, 高木育史 (同志社大学大学院文化情報学研究科), 宿久洋 (同志社大学文化情報学部)

日本プロ野球におけるロジットモデルを用いた配球分析
小池啓介, 阿部寛康 (同志社大学大学院文化情報学研究科), 宿久洋 (同志社大学文化情報学部)

コンペセッション2 15:10-16:30

「好不調の波」のパターンを探る—状態空間モデルを利用した選手の分類—
柳澤圭介 (中央大学大学院理工学研究科), 酒折文武 (中央大学理工学部)

MCMC法に基づく球種の選択の考察

上原早霧, 赤坂拓哉, 小川光紀, 竹村彰通, 沼田泰英, 茂木隼 (東京大学大学院情報理工学系研究科)

サッカーデータのプレイ解析

武田瑞紀, 齋藤隆良, 佐野源太, 宗像昌平 (東海大学理学部), 山本義郎 (東海大学理学部)

社会ネットワーク分析を用いたサッカーナショナルチームの攻撃パターンの評価と比較

石井涼, 北野道春 (同志社大学大学院文化情報学研究科), 宿久洋 (同志社大学文化情報学部)

特別講演 16:50-17:20

2011年プロ野球における総合評価

金澤慧 (データスタジアム(株)・ベースボール事業部・アナリスト)